

事務事業名	てれび広報ほっとナビ制作事業		所属部局	秘書課		単位番号	1022										
			所属課室	秘書課		課長名	飯野多恵子										
	☐ 実施計画事業		所属担当	広聴広報担当		担当者名	宮下 学										
基本政策	基本計画	03	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	03		地域ネットワークの充実	事業区分	01	一般	0	2	0	1	0	3	0	3	0	0	8
施策	05		市政への直接参加システムの構築		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
					☐ 市の制度による義務的事業	☒ その他の事業											
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度)		法令根拠	なし												
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 毎月発行している広報紙を基に、文字数に限りがある広報紙を、より詳しくわかり易い表現で担当者が出演し説明した広報番組を制作し、市内のCATV加入世帯に配信している。 番組制作会社と放送内容を検討→広報紙掲載担当課へ番組出演依頼→原稿作成→出演が決定した職員の収録→広報担当のスタジオでの収録→番組の編集→ダビング→番組確認作業→放送依頼業者にテープ搬送→放送開始	事業費の主な内訳 (22年度)			項目(細目) 金額(千円) 項目(細目) 金額(千円)													
	その他委託料			2,155													
				計 2,155													

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	毎月1回番組収録(作成)。放送(月初めの木曜日から放送)は白根・峡西・富士川CATVから配信
	23年度活動予定	同上
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内のCATV加入世帯	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	映像により広報紙を分かりやすく市民に伝えることで、市が行っている事業などに関心を持ってもらうと同時に市政を理解していただく。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民へわかり易く情報発信することで、市政への理解を深めていただき、市民参画へのきっかけを作っていく。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア CATVが放送した回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア CATV加入世帯数	軒
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア アンケート調査等で、よく理解できると答えた者の割合	%
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア イベントや市政参画者のうちCATV等から情報得ていると答えた者の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	2,155	2,155	2,155				
		事業費計 (A)	千円	2,155	2,155	2,155	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2					
		延べ業務時間	時間	72	72	72					
		人件費計 (B)	千円	321	321	285	0	0	0	0	
		(A) + (B)	千円	2,476	2,476	2,440	0	0	0	0	
活動指標		ア	回	12.0	12.0	12.0					
		イ									
対象指標		ア	軒	20,586.0	21,533.0	22,000.0					
		イ									
成果指標		ア	%								
		イ									
上位成果指標		ア	%								
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前の旧白根町のときから自主放送として製作、放映していた。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比較して変化しているか? また、今後の予測は?	特に変化はない
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている [内容:] ☒ 取り組みしていない [理由:]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	モニター制度や市民調査の結果で検討することになっているが、その調査を実施していないため。
H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	てれび広報ほっとナビ制作事業	所属部	秘書課	所属課	秘書課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】 市政の情報等をCATVを通して市民へ発信するシステムの構築がなされているため。また、そこから情報を得て市政に参画した市民がいることによりシステムの構築がなされていると検証できる。			
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 市政の情報発信をするのは、市の役目であるため、公共関与は妥当である。ただし、この事業の有益性は別である。			
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 適切である 【理由↓】 成果に対する調査を行っていないため判断しにくい、市民の視聴率や行政放送に対する認知度は、かなり低いと推察される。			
	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 行政放送を視聴するには、CATVへの加入が前提条件となっているため、加入者を増やすには今回の地デジ移行がビックチャンスである。しかし、各CATVが民間企業のため、行政が積極的に推進することに課題はある。次に市内をエリアとするCATV会社が4社あることから、行政報道の時間帯がバラバラで、住民への周知方法が難しい。			
有効性 評価	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☒ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 事業としては統合すべきだが、番組としては別にする。 ☐ 類似事務事業がない			
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 モニター制度やアンケートなどで、廃止に関する影響を調べていないのでなんともいえないが、行政放送を全く見ていない家庭やCATVへ加入していない世帯もあることから ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】 廃止しても、市民に対する影響は少ないと思われる。			
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 番組として成立させるには、今の内容が最低限必要である。これ以上内容の少ない番組を放送しても市民の理解は得られない。コストを下げるには廃止が継続の選択が必要である。			
効率性 評価	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 制作等の業務はすでに委託しているので、直接人件費がかかるのは、担当職員と出演する職員分である。収録等も極力短時間で終わるよう努力や工夫を重ねている。			
	公平性 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である 【理由↓】 CATVでの放映という点から、未加入者は必然的に視聴できないという公平性に欠ける部分はある。また、4つのCATV会社を経由することから、放映日時や回数が統一できずにいる。課題に対する解決案が見出せない。			

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・CATVへの加入動機が地域によって異なり、行政番組の視聴に対する意識も市の南部地域ではかなり低い。(白根、八田地域は行政番組を視聴するために加入した世帯が多いが、若草、櫛形、甲西は東京波の番組を視聴するために加入した世帯がほとんどである) ・市政モニター制度の導入も検討課題である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																							
☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性、 の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要					コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																							
		削減	維持	増加																					
成果水準	向上	☐	☐	☐																					
	維持	☐	☐																						
	低下	☐																							
(2) 改革改善案について 特になし		(5) 事務事業優先度評価結果																							
		成果優先度評価結果																							
		コスト削減優先度評価結果																							